

◆報告事項

「CO・OP コープながの牛乳」の産直化による  
名称及びデザイン変更について

コープデリ連合会商品政策の産直商品強化に伴い、「CO・OP コープながの牛乳」を産直牛乳として明確化し、より愛着をもっていただける商品名に変更します。名称変更に伴うパッケージの変更は、現包材が終了次第新包材に切り替えていきます。商品仕様についての変更はありません。

※現・CO・OP コープながの牛乳⇒新・CO・OP 産直ながの牛乳

コープながの商品の「国産小粒納豆」の廃番と  
代替商品について

5月23日の臨時理事会で廃番が承認されたコープながの商品「国産小粒納豆」は、9月4回をもって終了となります。代替商品として、10月1回からあづま食品の納豆「舌鼓」を配置いたします。

松本市との「松本市地域見守りネットワーク協定書締結」の件

近年、認知症高齢者や社会的弱者を地域ぐるみで見守る重要性が高まり、特に住民との接触機会が多い事業者による見守り・声掛け・通報が、事故や事件を未然に防ぐ大事な要素となっています。コープながも事業を通じて、さりげない見守りを実施し地域住民のお役に立てるよう、松本市と「松本市地域見守りネットワーク協定書」を締結します。

永年利用組合員感謝企画実施の件

2017年6月15日から、2018年6月14日までに、生協加入30年を迎えられ、現在もコープデリ宅配を利用されている3,028人に、7月4回企画で1,000ポイントをプレゼントしました。

「組合員の声」7月度まとめ

7月度のカード受付件数は全体で150件でした。内訳は、組合員さんが直接記入して提出された「声のポスト」が30件、組合員さんの言葉を職員が記入して提出した「親たこと聴いたことカード」が110件、案内センターへの声が10件でした。組合員さんから「CO・OPベビーチーズをよく利用しています。とてもおいしいです。今回、16個入りのベビーチーズがこの長野県にあるQBB佐久工場から出荷されていることを知り、ビックリ！とてもうれしく、よけい親近感がわきました。」のほか、「農産品の不良（柑橘の甘みがない、メロンにはがっかり）」について「声を複数いただきました。」

8月度監事会活動

- 7月23日 日本監査役協会 新任監事研修会
- 7月26日 コープデリグループ監事連絡会・世話人会(～27日)
- 7月31日 内部監査同行「安曇野センター」
- 8月 1日 日本生協連 常勤監事監査研究交流会(～2日)
- 8月 7日 内部監査同行「長野センター」
- 8月10日 第3回監事会

2018年7月の回収量		★…店舗のみで回収 【前年同月に対して】😊増加 😞減少	
牛乳パック 6,226 kg 😊	ペットボトル★ 2,918 kg 😊		
本数 207,537本	本数 55,060本		
たまごパック 2,111 kg 😊	食品トレイ★ 1,167 kg 😊		
パック 175,900パック	枚数 194,500枚		
アルミ缶★ 1,235 kg 😊	買物袋持参率★ 80.0% 😞		
缶 29,405缶	来店数 71,314人		

8月度決算(2018年7月21日～8月20日)	
組合員数	307,897人 (前月差269人増加)
出資金総額	122億5,174万円 (前月差4,098万円増加)
事業高	30億8,403万円 (予算比103.1%)
コープデリ宅配	28億3,857万円 (予算比103.0%)
店舗	1億9,580万円 (予算比102.6%)
職域	669万円 (予算比84.8%)
経常剰余金	2,907万円 (予算比2,704.8%)



お米育ち豚

日本の米づくりをささえる、お米育ちの産直豚。

コープデリの

《お米育ち》シリーズ



田んぼは、お米を作る役割だけでなく、日本の景観の美しさの象徴です。また、洪水の防止や生命の棲みかとして環境保全に貢献しています。

しかし私たちの食卓はバラエティに富み、そのためお米の消費量が減り、人口も減ってきて、お米を作る田んぼが減ってしまう心配があります。そんな中、コープは田んぼを守るため、家畜の飼料にお米を加えて肥育する「お米育ち」を始めました。最初は豚、そして鶏、牛へと「お米育ち」は広がっています。お米育ち豚は、おかげさまで販売10周年を迎えることができました。

お米育ちの豚肉以外は

- ・産直稲穂のみのりたまご
- ・産直純和鶏お米育ち
- ・産直お米育ち牛
- ・黒毛和牛お米育ち があります。



お米育ち豚は、素材としての精肉のほか、ミールキットの材料に入れたり、コープデリ独自の冷凍春巻きなどの加工品に使われるようになりました。

日本の景観や自然を守りながら  
日本の食料自給率アップのお手伝いもできる  
「お米育ち」シリーズを、味わってみませんか。